

新規事業評価調書

【砂防事業】

野田川

県土整備部
土木局 砂防課

投資事業評価調書（新規）

部課室名	県土整備部土木局 砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 高谷和彦 (主幹 (防災担当) 小倉正大)	内線	4459 (4467)	
事業種目	事業名	事業区間	総事業費	内用地補償費	着手予定年度	完了予定年度
砂防事業	通常砂防事業 の 野田川	丹波市 山南町 たがわ 谷川	1.5億円	0.1億円	平成29年度	平成31年度
事業目的			事業内容			
<p>当地区は、土石流発生の危険性が高いことから、土砂災害警戒区域となっており、保全対象は人家30戸、県道、市道、市役所支所、公民館、避難所である中学校がある。</p> <p>そのため、地域の人命・財産を守り、安全・安心な暮らしを支えるために、「第2次山地防災・土砂災害対策5箇年計画(H26～H30)」に基づき、砂防事業を実施する。</p>			<p>砂防えん堤工 1基 (高さ 10.0m, 延長 50.0m) [負担割合] 国・県：各50%</p>			
評価視点	評価結果の説明					
(1) 必要性	<p>①野田川は、(一)加古川水系篠山川に流入する土石流発生の危険性が高い溪流(JR福知山線谷川駅より南西へ約1.5km)である。</p> <p>②近年の降雨により溪岸の侵食や倒木があり、流域の荒廃が進行している。</p> <p>③溪床には土砂が厚く堆積し、多量の土砂が流出する可能性があり、谷出口には人家があることから、土砂災害の危険性が高い。</p>					
(2) 有効性・効率性 (執行環境状況)	<p>①警戒避難体制の整備に加え、ハード整備により土砂災害対策の充実を図り、地域の安全・安心な暮らしの確保に大きな効果がある。</p> <p>②地元要望が強く、工食用進入路の確保など、工事に対する地元の理解が得られていることから、円滑な事業執行が可能である。</p>					
(3) 環境適合性	①地山の改変を最小限にとどめ、環境保全に努める。					
(4) 優先性	①保全対象には人家30戸、(一)山南多可線、市道、丹波市役所山南支所、中央公民館、山南分館、避難所である山南中学校がある。また、溪岸の侵食が進み、流域の荒廃が進行していることから、早期事業着手を図る。					

かこ のだ たんば さんなん たにがわ
 (一)加古川水系 野田川 通常砂防事業(丹波市山南町谷川)

- 現状の危険性: 転石や倒木が多く、流域荒廃が著しいため、今後の降雨で土石流の発生により、人家、県道、市道、市役所支所、中学校等に被害のおそれがある。
- 保全対象: 人家30戸、(一)山南多可線(480m)、市道、丹波市役所山南支所、公民館、山南中学校(避難所)
- 全体事業費: 150百万円(H29~H31)

